



こやの里祭り

(第 4 号)

令和8年 6月1日 (月)

兵庫県立こやの里特別支援学校

校 長 只 石 和 世



「今 大切にしたいこと」

小学部長 辻井 和子

小学部には現在、147名の児童が在籍し、70名の教職員が一人一人の成長を支えながら、日々の教育活動に取り組んでいます。小学部の学部目標は「健康で楽しく生活できる子ども」の育成です。児童が心身ともに安心して学校生活を送り、自分らしく力を伸ばしていけるよう、丁寧な関わりと支援を大切にしています。「健康で生活する」ために、小学部では毎日の生活そのものを学びの場と捉えています。朝の仕事では、自分のカバンから必要な荷物を出す、給食袋を自分のフックに掛ける、連絡帳を決まった場所に出すなど、一つ一つの行動を「自分の仕事」として取り組んでいます。初めは教師と一緒にいたことも、繰り返し経験する中で、少しずつ自分の力でできるようになり「できた」という達成感や自信につながります。このような小さな「できる」の積み重ねが、生活する力の土台となっています。

また、朝の会では、児童一人一人のさまざまなコミュニケーションの形を大切にしています。言葉での発表だけでなく、視線や表情、身振り、サインなど、子どもたちが示す思いを教師が受け止め、言葉にして返すことで「伝わった」「分かってもらえた」という経験を重ねています。名前を呼ばれて返事をする、自分の体調や気持ちを表す、友達の発表を一緒に聞くなど、朝の会はコミュニケーション能力を育む大切な時間となっています。「楽しく生活する」ためには、人との関わりの中で安心感をもつことが欠かせません。学校生活の中では、「ちょうだい」「ありがとう」「ごめんなさい」など、気持ちを伝える言葉を使う場面を大切に、教師が手本を示しながら関わっています。こうしたやり取りを通して、相手を意識し、関係を築く力が少しずつ育っています。

ご家庭におかれましても、ぜひお子さまができるお手伝いを一緒に行い、挨拶や日常の言葉を使う場面を大切にいただければと思います。「いただきます」「ありがとう」といった言葉を交わすことは、コミュニケーションの力を育む大切な機会です。学校と家庭がつながりながら、同じ思いで子どもたちの成長を支えていければと考えています。

これからも小学部では、児童一人一人の歩みに寄り添い、「健康で楽しく生活できる子ども」を目指して教育活動の充実に努めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

